

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉
平成 21年 4月
(第14 ~ 18週)

発行年月日 :平成21年(2009年) 5月27日
発行 行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といえます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 21年				平成 20年 ^{*1}		感染症 類型	疾 病 名	平成 21年				平成 20年 ^{*1}	
		1～3月		4月		1～12月				1～3月		4月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	4	0	2	0	132
	痘そう	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	0	3
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		鼻疽	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0		ブルセラ症	0	0	0	1	0	4
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	2	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	
	結核	75	5,521	27	2,825	282	28,419	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	0	0	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	2	
	鳥インフルエンザ(H5N1) ^(*)	0	0	0	0	0	0	マラリア	0	16	0	6	1	56	
三類	コレラ	0	2	0	0	0	45	野兔病	0	0	0	0	0	5	
	細菌性赤痢	0	44	0	17	² 3	320	ライム病	0	0	0	0	0	5	
	腸管出血性大腸菌感染症	0	193	3	117	53	4,322	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	腸チフス	0	6	0	6	0	57	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	
	バラチフス	0	3	0	3	0	27	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	
四類	E型肝炎	0	11	1	4	0	43	レジオネラ症	1	147	0	52	10	893	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	1	0	1	0	42	
	A型肝炎	0	23	0	7	3	170	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	
	エキノкокクス症	0	7	0	2	0	22	五類	アメーバ赤痢	2	215	2	71	10	872
	黄熱	0	0	0	0	0	0	ウイルス性肝炎	1	44	0	29	5	241	
	オウム病	0	1	0	1	0	9	急性脳炎	0	65	0	19	1	190	
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	クリプトスポリジウム症	0	2	0	0	0	10	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	25	0	12	2	152	
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	29	1	14	1	113	
	Q熱	0	0	0	1	0	3	後天性免疫不全症候群	2	338	0	148	11	1,568	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	ジアルジア症	0	15	0	13	1	76	
	コクシジオイデス症	0	1	0	0	1	2	髄膜炎菌性髄膜炎	0	4	0	3	0	10	
	サル痘	0	0	0	0	0	0	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	梅毒	0	174	0	64	5	839	
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	破傷風	0	13	1	8	5	123	
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	22	0	11	0	80	
	つつが虫病	0	35	0	9	0	442	風しん	0	45	2	22	2	309	
	デング熱	0	18	0	4	2	104	麻しん	0	189	0	112	39	11,015	
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0								
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0									

(*) :平成20年5月12日から集計

滋賀県における全数報告感染症の概要 (4月)

<結核>

性別:男性 17名、女性 10名
 類型:患者 23名
 疑似症患者 1名
 無症状病原体保有者 3名
 病型:肺結核 21名
 その他の結核 6名

<腸管出血性大腸菌感染症>

性別:男性 1名、女性 2名
 年齢:16歳、36歳、50歳
 血清型・毒素型:
 O157・VT2 2名
 血清型不明・VT1 1名

<E型肝炎> 男性 30歳

推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。

<アメーバ赤痢> 男性 36歳、女性 36歳

推定感染経路は経口感染1名、不明1名で、推定感染地域は日本国内です。

<劇症型溶血性レンサ球菌感染症>

女性 6歳
 推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。

<破傷風> 男性 18歳

推定感染経路は創傷感染で、推定感染地域は日本国内です。

<風しん> 男性 36歳、女性 61歳

推定感染経路は飛沫・飛沫核感染で、ワクチン接種歴は2名とも不明です。

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

4月の概要

<インフルエンザ>

インフルエンザの発生は第13週(3/23~3/29)以降減少傾向を示していましたが、第16~18週(4/13~5/3)はほぼ横ばい状態となり例年よりかなり高い定点当たり患者数(1.88~2.31)で推移していました。

また、アメリカ、メキシコ等で感染が拡大していたインフルエンザA/H1N1を感染症法で規定する新型インフルエンザに指定しました。

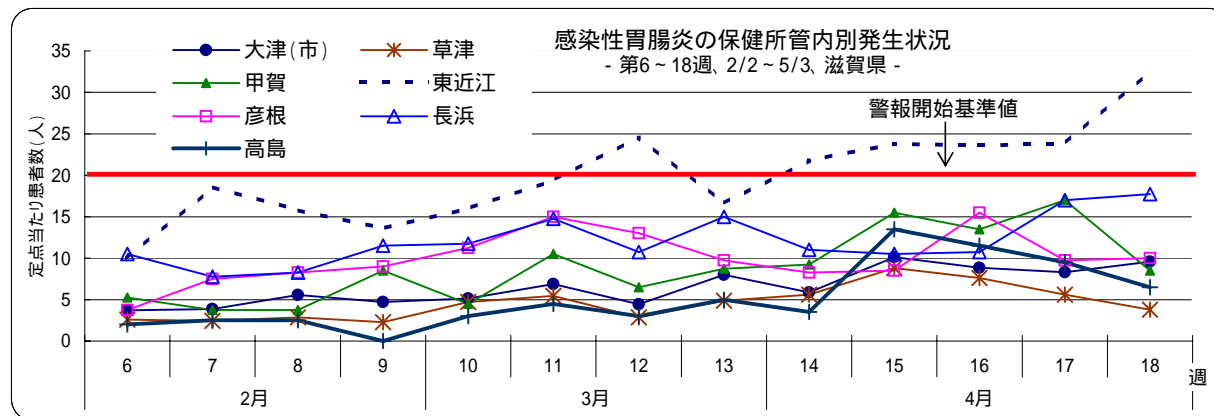
<小児科定点疾患>

先月より増加した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(他の疾患の発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。特に感染性胃腸炎では東近江保健所管内において増加傾向を示し、第14~18週(3/30~5/3)の間、定点当たり患者数は警報開始基準値(20.00)を越えていました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は甲賀からの報告がやや多く、急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患である細菌性髄膜炎は甲賀から、マイコプラズマ肺炎は東近江および長浜からの報告がありました。クラミジア肺炎および無菌性髄膜炎の報告はありませんでした。

感染性胃腸炎の発生状況(平成21年第6~18週)



大津(市): 第14週以降は大津市保健所管内からの患者報告数

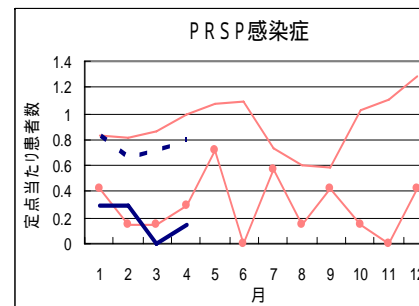
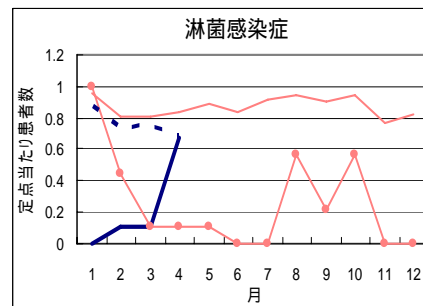
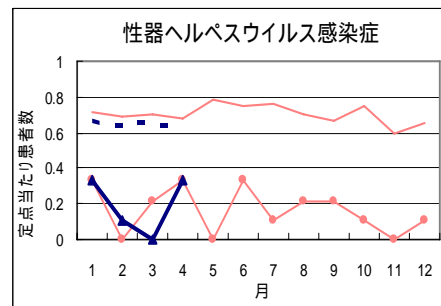
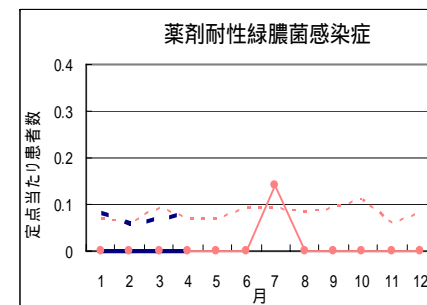
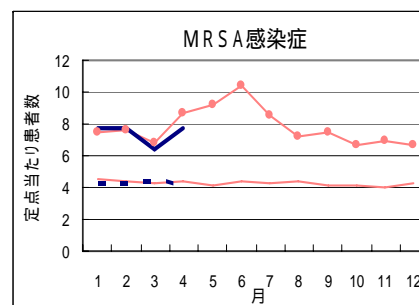
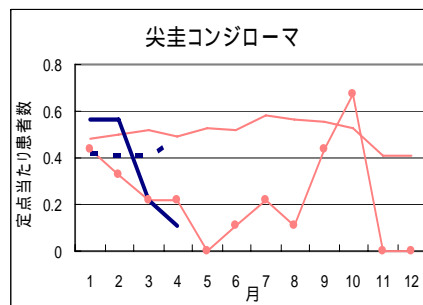
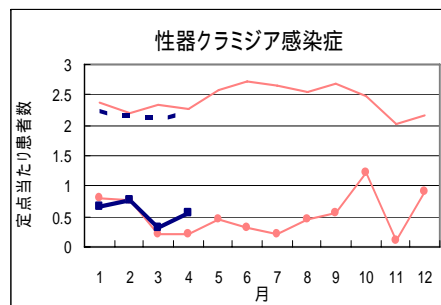
<各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成 21年 4月)

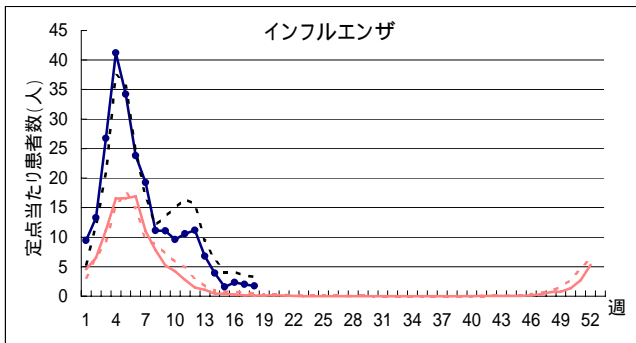
疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	7	3	5									21
	定点当たり	0.67	0.78	0.33	0.56									2.34
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	1	0	3									7
	定点当たり	0.33	0.11	0	0.33									0.77
尖圭コンジローマ	罹患数	5	5	2	1									13
	定点当たり	0.56	0.56	0.22	0.11									1.45
淋菌感染症	罹患数	0	1	1	6									8
	定点当たり	0	0.11	0.11	0.67									0.89
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	54	54	45	54									207
	定点当たり	7.71	7.71	6.43	7.71									29.56
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	2	2	0	1									5
	定点当たり	0.29	0.29	0	0.14									0.72
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0									0
	定点当たり	0	0	0	0									0



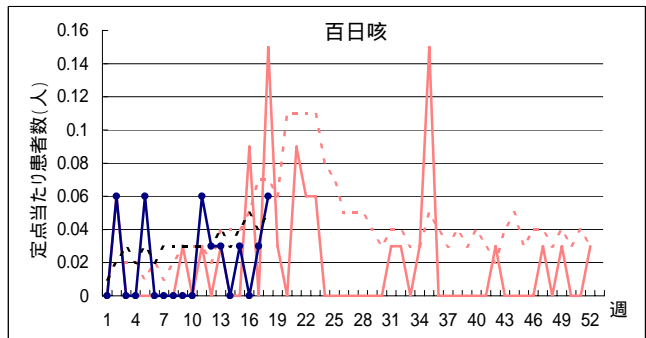
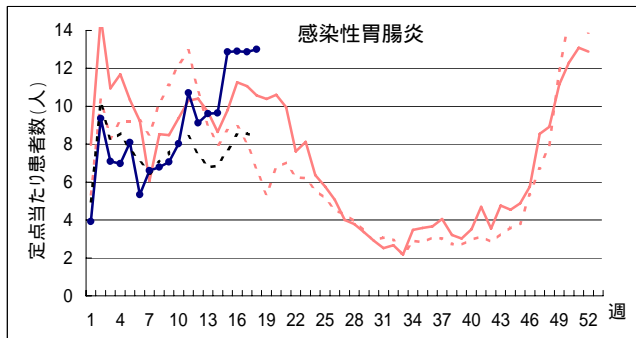
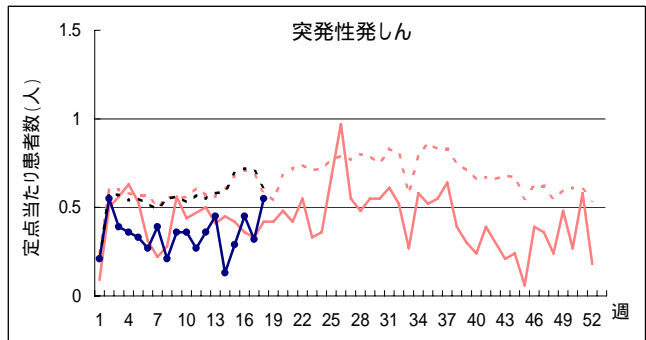
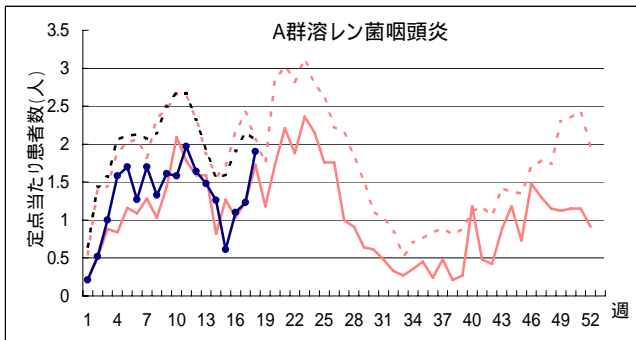
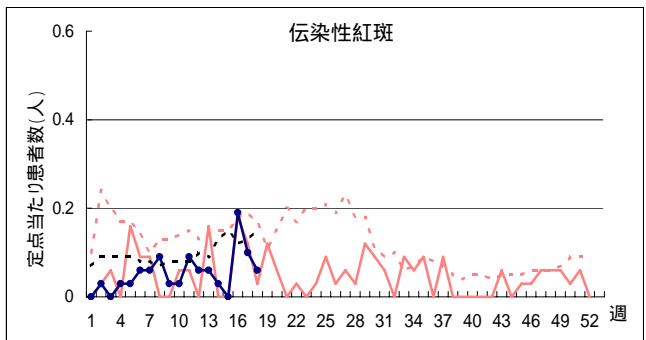
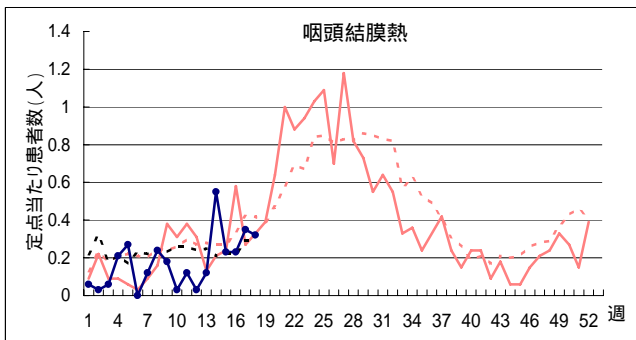
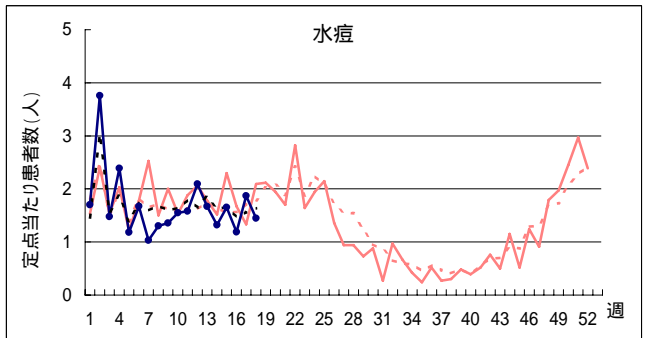
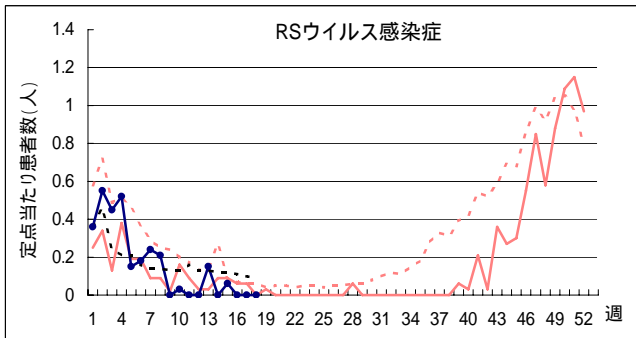
H20 { 滋賀 ●●●●●
 { 全国 ○○○○○
 H21 { 滋賀 ●●●●●
 { 全国 ○○○○○
 MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症、MRSA感染症およびPRSP感染症は増加し、尖圭コンジローマは減少しています。特に淋菌感染症で急増しています。また、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありません。

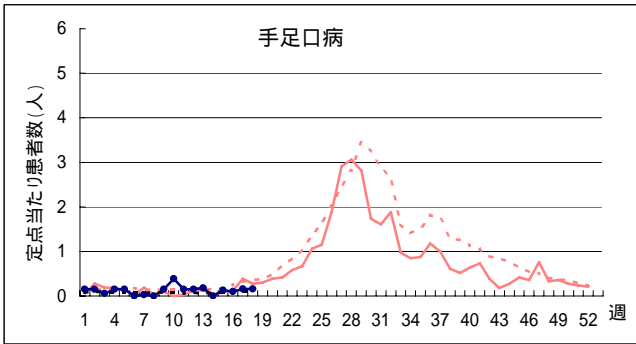
疾病別定点当たり患者数(平成21年第18週、H19.12.29～H21.5.3)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第18週、H19.12.29~H21.5.3)



H20
 { 滋賀 ————
 全国 - - - -
 H21
 { 滋賀 ●●●●
 全国 ······

